

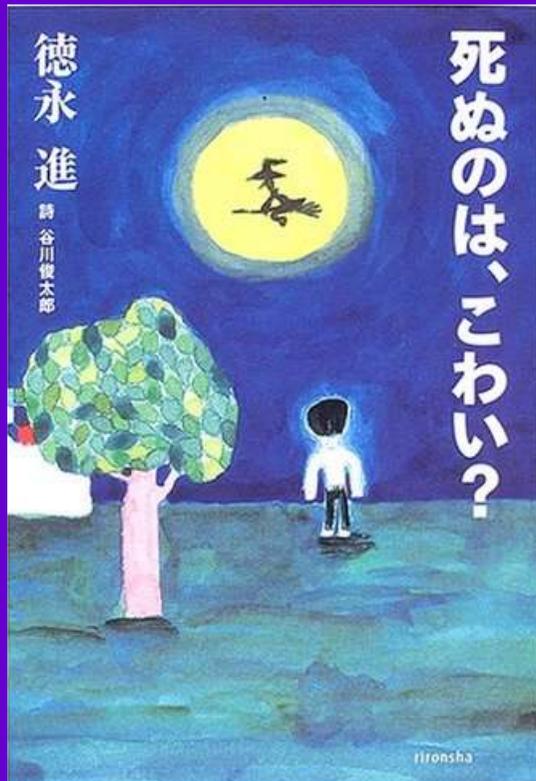
いのちのブックガイド

— 本の紹介 —

Part 2

# 死ぬのは、こわい？

by 葉っぱ



作：徳永進

装画・挿画：100%ORANGE／及川賢治

詩（あとがきに代えて）：谷川俊太郎

理論社 2005年

1,050円

120頁

活字大きめで漢字はふりがなつき。

小3くらいから読めそうです。

作者徳永進さんは 鳥取市にある19床のホスピス  
「野の花診療所」所長。

# ぼくの病気はいつなおるの？

by 葉っぱ



副題

ーツヨシ君のいちばん聞きたいことー

作：田沢雄作／田沢二三代

絵：榎野ヒカリ

太陽の子風の子文庫（鳥取県米子市）

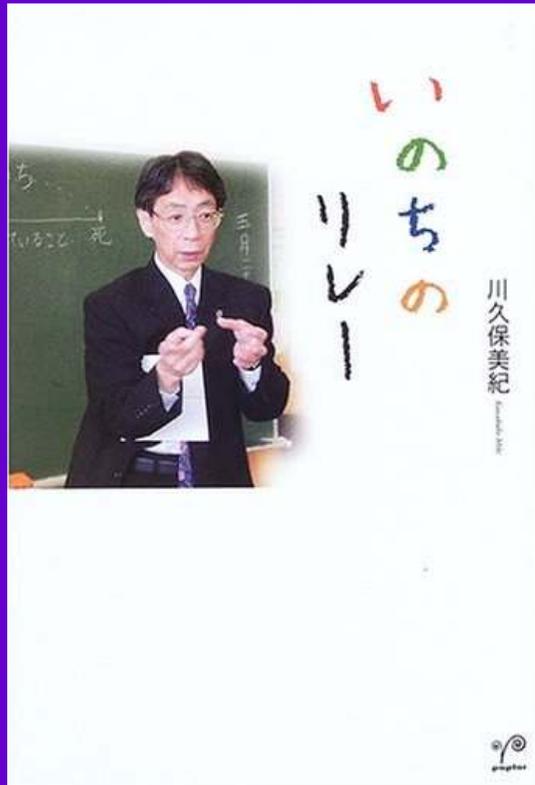
1,000円

作者は小児科医。

長期入院で院内学級に参加する子ども達の質問を題材に、「見えない不安に耐える親子の心の支えに」と作った絵本。

# いのちのリレー

by 葉っぱ



著：川久保美紀（毎日新聞記者）

ポプラ社 2005年7月

1,470円

191頁

「くまのこうちょうせんせい」のモデル大瀬敏昭さんの「いのちの授業」と、闘病や家庭生活など私人としてのエピソードを含むノンフィクション。

by 葉っぱ

# 命のノート-ぼくたち、 わたしたちの「命」についての12のお話



著者：細谷亮太

(聖路加国際病院副院長・小児科部長)

挿画：いわさきちひろ

講談社 こどもライブラリー

139頁

新書判

各章のはじめに小さな挿画がありますが絵本ではありません。  
10歳ごろまでなら、大人と一緒に読み、疑問や不安を話し合っ  
てフォローしてあげる必要があるのではないのでしょうか。

# 風のようによりそって 愛といのちの物語

by 葉っぱ



作: 柴田久美子

佼成出版社 06年7月

1,365円

45頁(物語28頁)

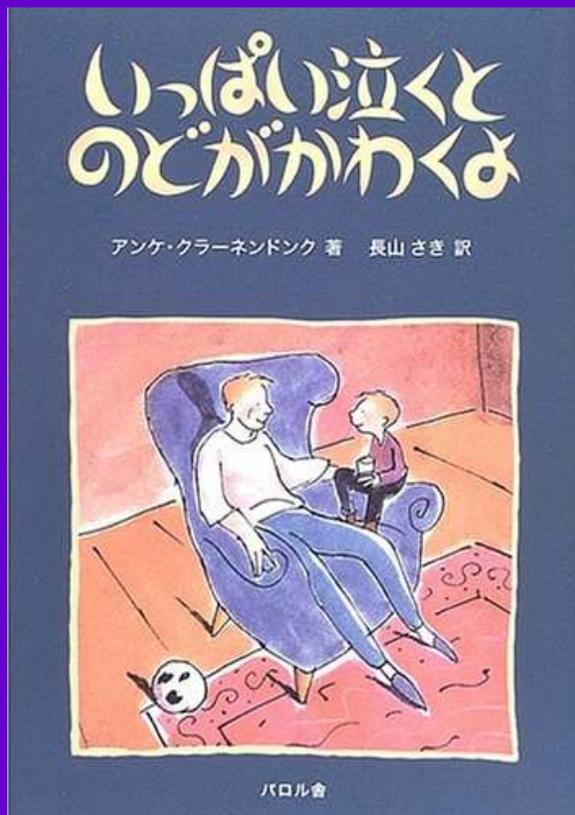
作者は

「幸齢者」(高齢者)看取りの家「なごみの里」  
(隠岐・松江)代表。

「子どもに死をどう説明したらいいのか」  
「子どもといっしょに読める物語を書いてほしい」と  
いった声が、数多くよせられ、自分自身の体験をもとに、  
父親の最期を看取る少年の物語をつくることにしました。

# いっぱい泣くと のどがかわくよ

by 葉っぱ



著：アンケ・クラネンドク

訳：長山さき

パロル舎2005年

1300円

84頁

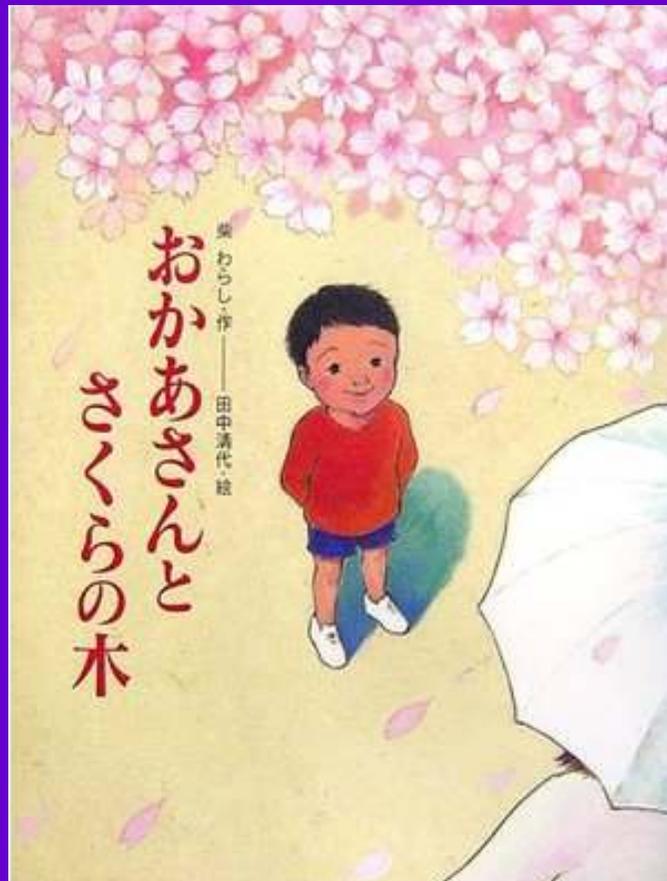
小3くらいから。

はじめて身近な人の「死」に直面し、戸惑いながらも理解しようとするヨーリス少年。

おじさんの死を乗り越え、妹の誕生をむかえ  
少しずつ成長していきます。

# おかあさんとさくらの木

by 葉っぱ



柴わらし著 田中清代 画

2007年4月

ひくまの出版

1,500円

25cm

28頁

# ポケットの中のプレゼント

by 葉っぱ



文：柳沢恵美

絵：久保田明子

ラ・テール出版

1,500円(税別)

9歳と7歳の男の子を遺して、36歳の若さで、  
乳がんの肝転移で亡くなったナースの著者が  
病床中に綴った子供への感動的な童話のメッセージ。

# わたしのもみじ

by 葉っぱ



写真・文 岩間史朗

ポプラ社「自然 いのち ひと」シリーズ2

1,300円

約40頁

2001年初版

2006年4刷

「ぼくは、1本の木から、たくさんの元気をもらった。」  
海拔1,000メートルの高原にある一本のもみじの木を  
10年にわたって撮り続けてできた本。

# 地球というすてきな星

by 葉っぱ



ジョン・バーニンガム  
作・絵 長田弘 訳

1998年10月

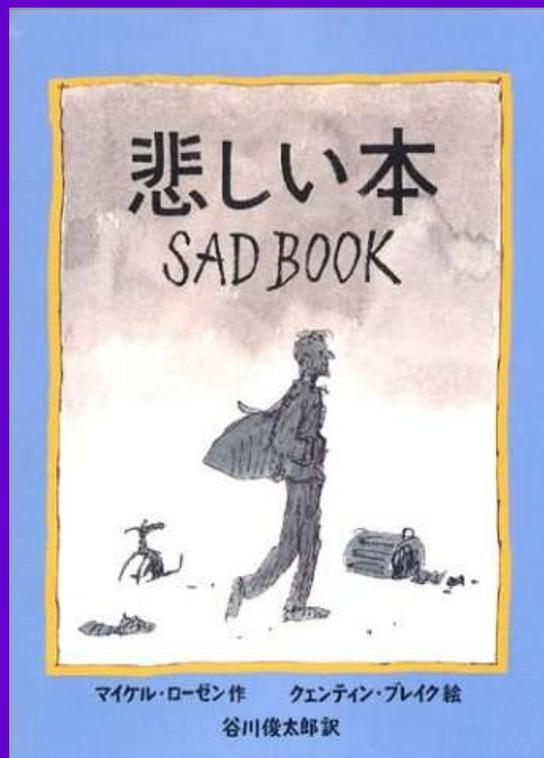
ほるぷ出版

1,800円

こどもの本をたくさん書いている バーニンガムが、  
南紀熊野体験博のイメージテーマから書き下ろしたものの。

# 悲しい本

by sorrel

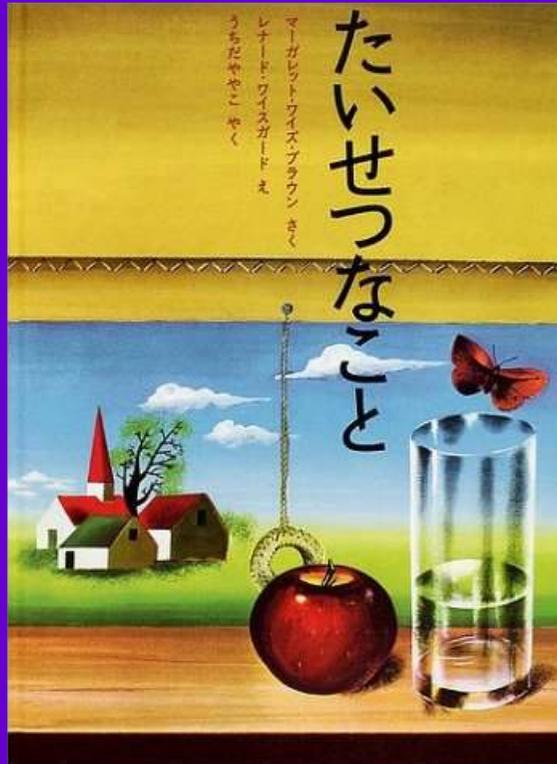


マイケル・ローゼン作  
クエンティン・ブレイク絵  
谷川 俊太郎訳  
2004年  
あかね書房  
1,400円

大人向けと帯にありますがとても胸をうつ作品です。  
家族を失った男の悲しみを  
そしてそれをどう乗り越えるかを 描いています。

# たいせつなこと

by sorrel



マーガレット・ワイズ・ブラウン作  
うちだやこ訳

2001年

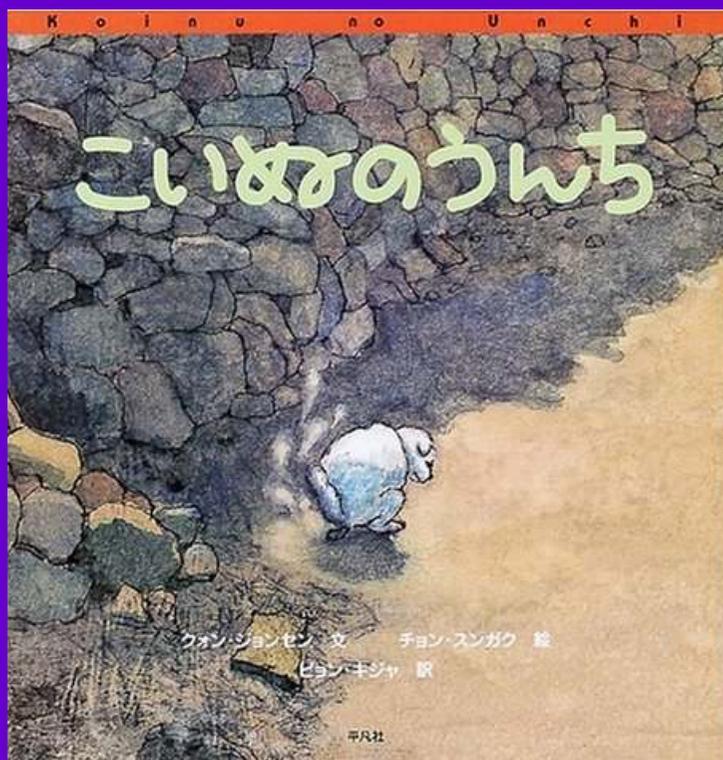
フレーベル館

1,200円

大人にも子供にも伝わる、伝えたい一冊です。  
言葉がやさしく 絵がはっきりしていて美しい作品です。

# こいぬのうんち

by 葉っぱ



クワン ジョンセン文  
チョン スンガク絵  
ピオン キジャ訳  
2000年9月  
平凡社  
1,500円  
B5変形

MOMOちゃんが入院していた病棟の絵本コーナーに  
ありました。

福井県小浜市の雲浜小学校図書ボランティアさんで  
3年生に読み聞かせをされたそうです。

# いのちのおはなし

by けろ



日野原 重明 (著),  
村上 康成 (イラスト)

講談社

1365円(税込み)

日野原先生は95歳で現役のお医者さん。  
10歳の小学生に行った「いのちの授業」の絵本です。  
いのちの不思議を考えさせられます。  
村上さんの絵も楽しい絵本です。

# 恵みのときー病気になったら

by 葉っぱ



詩・文：晴佐久昌英

絵：森 雅之

1260円

本文79ページ

サンマーク出版

2005年3月刊

闘病中の人や看病する家族に。  
広い年齢対象に読み聞かせも可。  
作者はカトリックの神父さんです。

# こどもたちへ 夜回り先生からのメッセージ

by 葉っぱ



水谷修著

2005年

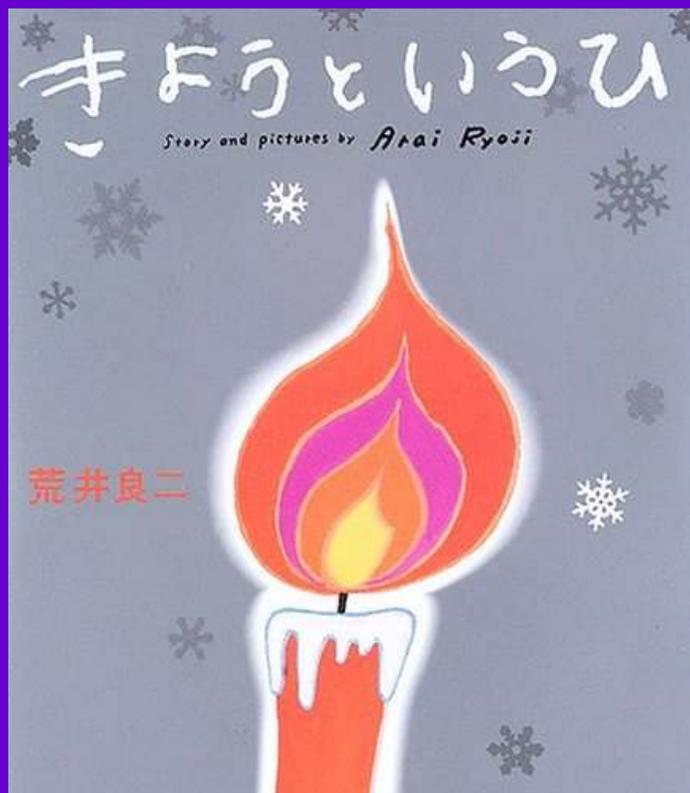
サンクチュアリ出版

1,200円

10数年にわたって不登校・非行・リストカット・ドラッグなどに  
溺れる子ども達を救おうと「夜回り」を続けている  
元高校教諭の水谷修さんの「夜回り先生シリーズ」の1冊。

# きょうというひ

by 葉っぱ



作・絵：荒井 良二

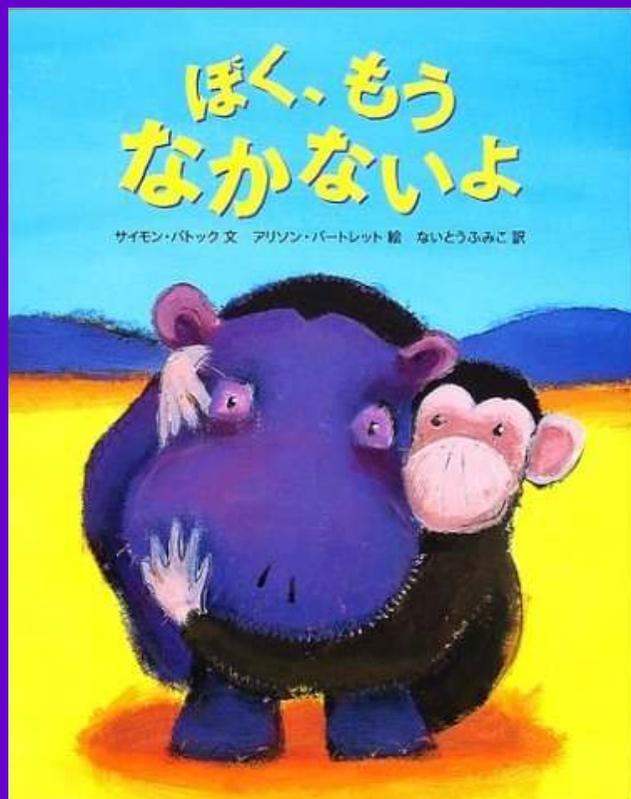
BL出版

1,300円

病気や生死のお話ではありませんが、  
クリスマスや冬の季節の読み聞かせに。  
リレーフォーライフのルミナリエを紹介するきっかけにも良いのでは。

# ぼく、もうなかないよ

by 葉っぱ



文：サイモン・パトリック

絵：アリソン・バートレット

訳：ないとうふみこ

徳間書店

おばあさんが話してくれたお話のおかげで  
悲しみをのりこえていくようすをあざやかな色彩で  
えがいた一冊。

# エヴァはおねえちゃんのいない国で

by みみこ



文：ティエリー・ロブレヒト  
絵：フィリップ・ホーセンス  
訳：野坂悦子  
くもん出版

文がすべてひらがなで短くわかりやすく、  
絵もかわいらしく、色も美しいので、  
小さな子に読み聞かせるのにもいいと思います。

# レアの星-友だちの死

by みみこ



文:パトリック・ジルソン

絵:クロード・K・デュボア

訳:野坂悦子

くもん出版

レアとロビンの友情をとおして、命を静かに見つめる絵本。  
サイズがちょっと小さいけど、絵がかわいらしく、  
内容も子どもにわかりやすいように思います。

# もしも世界が明日終わるとしたら

by Kuroa



ランス・ワベルズ編

牧野・M・美枝 訳

PHP研究所

¥1100

原題「If Only I Knew」はネット上で匿名で書かれた詩が話題を呼び、ランス・ワベルズ氏が編集しました。一度手に取ってご覧頂きたい本です。

# 水平線の向こうから

by Kuroa



堂園 晴彦文 / 葉 祥明絵

PHP研究所 (2002.7)

1,500円

# いつでも会える

by 葉っぱ



作・絵：菊田まりこ  
学習研究社  
48ページ

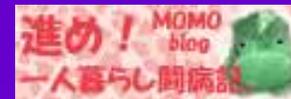
犬のシロは、みきちゃんと大の仲良し。  
でも、みきちゃんが、ある日突然いなくなってしまう。  
『死』を理解できないシロは、ひたすら探し回るけど・・・  
愛する者を失う悲しみが伝わってきます。」

# いのちのブックガイド

**Special Thanks**

MOMOちゃん & 葉っぱさん

# MOMOちゃんのプロフィール



1967年生まれ

- 2005年3月 大腸癌宣告。
- 2005年6月 直腸癌手術。
- 2005年7月 ストーマ造設手術。
- 2005年9月 腫瘍マーカー上がる。  
大腸大動脈リンパ節再発転移。
- 2005年10月 余命1年半と告知される。  
延命の為、抗がん剤治療始まる。  
複数転移発覚。
- 2006年4月 腎臓と肺に転移。
- 2006年8月 子宮に転移。
- 入退院を繰り返す。

2007年4月21日

午前4時15分 永眠



# 葉っぱさんのプロフィール



1965年生まれ

1999年 頬の内側にしこりを自覚する。

2004年6月 口腔外科にて、悪性の疑いと告知される。  
→頬粘膜癌(きょうねんまくがん)

2004年12月 手術。

手術成功の後、経過観察。

2007年8月21日 事故により永眠されました。

